

## セッション4 「ネクストステージを思い描こう！」

今、私たちの活動（CAP 活動）を必要としている人（相手）、働きかけたい人（相手）、待っている人（相手）はどんな人（相手）で、どこにいるかを思い描きながら、私たちが取り組むとよいと思われる活動のアイデアを出し合いました。同じものについてはまとめてながら、すべて皆さんと共有したいと思います。

### 1 地域・地域 CAP グループ間で連携して（ポストイト黄色）

子どもたちの現状の把握・ビジョンの共有・支え合える関係性	他団体と情報をシェアする場を持つこと。各グループの状況や地域の情報共有。意見交換。
子どもの人権を考える講演会	お互いのグループでワークショップスタッフ交換
CAP 月間（今年からかながわ CAP 月間として 9 月に県内 6 グループで県内で公開ワークショップを展開することになっている事例も紹介されていました）	行政にプレゼン（教育委員会・議会・子育て支援課）県・市へのプレゼン。意見を集約して行政への働きかけ。
地域セミナーとしてのおとなワークショップ	民政委員にワークショップをする
ニーズを考える	地域セミナー（全地域キャンペーン）
教職課程で CAP を取り入れた研修	行政委託を増やす（協働）他のグループと共に。グループ（県内）がまとめ、県の事業を受ける。
学び合い・学宿体験	合同研修で課題を見つける。
地域グループの垣根を越えたスキル向上勉強会	CAP まつり 1 年～2 年に 1 回おまつりイベント（発信）
保護者ワークショップ 少人数・分割・夜間・土日祝日など多様に対応する	子どもの日常生活を安心・自信・自由にするために CAP 実践者のスキルアップ！
ボランティア養成講座など人材ストック	県議会議員へ陳情に行く
効果の明確化・数値化（アンケートの工夫）	行政に働きかけてワークショップを助成してもらう
子育て支援の勉強会として提案して実施	会の活動を維持していく
情報発信の開拓（SNS の活用）	学校がやりたくなる営業力、方法をグループ内でシェアする
その地域特有の現在の問題を提供しあい、CAP の視点からその問題に特化した内容のワークショップをメインに行う	CAP の日に協力してイベントする
教員初任者研修で講師をする	要対協でのワークショップの開催
DV 協議会でのワークショップ	特別支援学級（での取り組み）
子育て支援、ファミリーサポート等	地域のサポート隊、学童とか
障がい者の方が通う作業所またはその指導者	ミニ講演会
県内 CAP の学習会（社会的養護）	CAP の応援団を増やす（駄菓子屋、文具屋、コンビニ）
まちおこし、まちづくりに関わる（子どもの視点を提供）	CAP+α⇒地元ファンを増やす（例えば、パン屋シールに安心・自信・自由、寄付パン）
知名度 UP	地域グループが地域への啓発という視点での合同研修
活動実績などを地域グループで一緒に行政機関に報告	研修会の共有 研修会を行うときは、他のグループにも情報提供

## 2 CCJと連携して（ポストイット緑色）

各グループのCAP活動で起こったことについての分かち合い	CAPを知らない人へCAPを伝える無料の講座を開いて、若い人を集める
研修等でスキル・情報・知識の底上げを図る	興味のある講師を呼ぶときの助成
聴覚障がい（特別支援学校）用プログラム・トレーニング（手話と～）	全国的な助成金をとり各グループへ
学生向け養成講座より、大学（教育大）とかへの働きかけ	行政にCAPをプッシュ
研修の充実	CCJと連携して全国キャラバンのCAPまつり（楽しみながら発信・広報）
CCJと連携して子どもの声・教職員の声・保護者の声といった当事者の声を集める。「今困っていることは何？」	CCJと連携してCAP効果調査 教職員ワークショップ・保護者ワークショップ・子どもワークショップの3つのアプローチの有効性の明確化
CAPの効果のアピール	情報共有
全体の動きを知る	署名キャンペーン
全国のCAPとホームページで統一メッセージキャンペーン	市町村担当者への基礎講座・養成講座の案内送付！
CAPグループ各々の成果を即時的に共有する方法の開発	各グループ同士でSNSを活用したON TIMEの情報交換
全国規模の効果測定、学者との連携	全国で統一したフォーマットによるアンケートや効果測定
他のCAPがどのような活動をしているのかわかるようにしていく	全国のグループの持っているアイデアを集約してシェアする場に
教職員ワークショップを基金をつくって実施していく	かながわCAP月間「CAP 今でしょ！」に後援して～
スペシャリストを増やす、シェアする	次世代育成
全国一斉「CAPの日」イベント開催	効果測定のためにアンケート調査（WS後）を各グループ同一の内容で行う、WSの効果測定の統一アンケート
県内キャンペーン⇒地域ワーク	福島の子ども支援研究
ワークショップの効果測定の統一アンケート	スポーツ指導員プログラム
教職員ワークショップ、保護者ワークショップの手助けOR共通、統一プログラム	CCJ理事集金（お金を集める）
子ども視点からの発信	メディア作品
発達障がいの研修	助成金を活動して、届きにくい子どもに届ける
WAM助成金で各グループがおとなワークショップをする	

### 3 他の団体や機関と連携して（ポストイット青色）

妊婦さん&夫たちへのおとなワークショップ	団体間での勉強会
イベントの開催⇒活動資金の確保	共同でのイベント開催
保健センターのパパ・ママ学級での CAP おとなワークショップ	人権啓発センター・保健所・教育委員会・企業・男女共同参画センターとの協働
子育て支援 NPO と CAP おとなワークショップや子どものエンパワメントにつながる研修	CAP の PR ビデオの作成（ベーシック編・プレ編）
中学校教師たちの連合会での研修	CAP 費用の予算化（行政）
生活保護課と家庭子ども相談課と学び舎支援へのプログラム	子育て支援団体と連携して子育て世代へ
児童館を地域に！そして指定管理者に	チャイルドラインの研修の中に入れる
寄付パン「カシコナーレ」（和歌山県のハッピーママライフとパン屋さん（地元企業）のコラボ企画でパンをつくり、その売り上げから子どもへの暴力防止活動に寄付をもらっている事例が紹介されていました。）	全国の子ども劇場でおとなワークショップ実施を
児童相談所職員への研修	教育委員会と不登校問題の意見交換
行政・企業・教育委員会との連携	要保護連絡会などと顔の見える関係づくり
学童を CAP のグループが運営して子どもが喜ぶ放課後	子育て支援課・サークル・要保護児童連絡会・医師会との関係づくり
民政委員や主任児童委員への研修、町内会への研修	違った立場でのネットワークづくり
特別支援学校へワークショップ提供の促進	子どもの権利を知ってもらう（研修など）
その都市（市町村）の子育て支援センターに出前講座（乳幼児の保護者対象）	保健師や子育てサークル
地元行政との協働・信頼関係の確立	消防士の人たちの研修に呼んでもらう（虐待の現場に立ち会う・虐待された子どもを病院に搬送）
看護師への研修	メティアとつながることで広報
民児協とつながることで子どもの親支援	医師会（小児科・精神科・プライマリケア・外科・整形外科・・・）
子ども生き生きキャンペーン・シンポジウム	いくつかの子育て支援の団体と協働で開催
各機関との連携（つながる）ことで地域の人権意識を強化する	企業との連動
地域企業への人権研修として紹介していく	助成金を出してくれるところを探す
児童養護施設の教職員ワークショップを継続的に実施していく	教育委員会、福祉課とつながり、新人研修に必ず CAP を受ける
若い保護者に子育て支援課と連携して CAP を届ける	産婦人科などで子育てのコツをお伝えする
県内グループの公開講座などを共有して「ぐるっとセミナー」のように広報	よいいじめ防止法を作るための連携
行政に各施設（学校・福祉施設・病院など）への人権研修として提案	地域 NPO 交流会に参加
地域フェスティバルに参加	まちづくりシンポジウムみたいなもの
保育協会総会でプレゼン⇒ワーク	警察

養護教員	小児科 Dr、Gyu Dr の勉強会
SSW の研修に CAP ワークを！	新人研修に取り入れてもらう
企業の人権研修	保育士、教員養成課程への基礎研修（必須）
子どもの視点を提供する	集金、地元の活動も CAP の可能性をさらに探究
公民館 イクジイ、イクメン講座として	子育て等の市民グループと連携してワークショップを行う
地域の教育、福祉団体と連携して地域のワークショップを実施する	子育て支援グループとの情報交換会
企業、CSR、教育啓発の素材として利用してもらう	他団体と地域の子どもが抱えている課題を考える、子ども夢フェスタ企画
女性センター、子家セン、チャイルドラインと一緒にイベントをする	

#### 4 CCJ への提案（ポストイットピンク色）

大学の教職課程の中に CAP を取り入れる	産科で実践する 45～50 分ワークショップ作成
教職員ワークショップメニュー作りの手伝い	関東と大阪を近づけて！
東京・神奈川での研修増	助成金の GET
TOST 受講者の活用（プレも）	クオリティ向上のためのエリアマネージャー配置（相談もできる）
児童養護施設の暮らしにピタッとくる子ども WS の作成	J-CAPTA と連携したスペシャリスト資格がとれるよう
PR グッズ A6 4 ページ（単価 10 円）10 年史やマンガ版サクセスストーリーの短縮版	J-CAPTA と連携した研修
2 時間で終わる中学生プログラムを作る	毎年地域を決めて、その地域の強化のためのワークショップをする。そこに先生にも参加してもらう。
共有できる課題は多い。Think&Act 必要。本日、ネクストステージは始まった。	CAP 効果調査が確かなものとしてできる土壌づくり（3つのアプローチの有効性を CAP スペシャリストが確信）
中高生向けワークショップの推進	中学生プログラムの養成講座
ティーンズ版の入りやすいもの。例えば 1 WS 2 限など。	より多くの情報や研修実施
RTC 間のより良い情報交流	きめ細かい研修の充実
スペシャリストのための強化合宿	おとなワーク用ツール（ppt、アクティビティ、アイデア、組み立てモデル）
子どもワークショップ用ツール 「安心・自信・自由」 「いや・にげる・相談する」 写真・人形・ポスター・アンケート	地域の活動グループ訪問でグループの問題解決
どのグループでも使える寄付グッズの制作	研修実施 メディアと連携するための
CAP プログラムへの信頼性を高める広報ツールの提供	子どもへの暴力防止に関してトピックスに対するコメント発表（メディアへの露出を含めて）

社会的問題があったときの＊いじめ・体罰・震災) と きの社会へのメッセージの発信	広報活動 CM 作成等してほしい
各グループの情報を得やすくなるシステムづくり (SNS の活用等)	全国の CAP グループの取組で取り入れてもいいよ、 という情報を HP で自由にアクセス
他のグループの活動を公表してほしい (新しい取組な ど)	地域にいるので他地域で問題となっている情報を出 してみてもいい
全グループで行っているワークの効果を数値化 (全国 の姿が見える、発信できる)	「CAP の日」をつくる
アドボカシーセンターの設立	“CAP に話そう” 統一番号、アドレス
CAP プログラムを中心とした周辺プログラムの開発 実践	保育士対象の専門職研修を広げる
「子育て系雑誌」に原稿を書く、相談コーナー担当	効果測定をして論文にまとめて発表する
いじめ防止の単独プログラムを作る	養成講座、TT 研修 (資格更新) の機動力 UP
企業との対話	議員との対話
啓発 CM (AC とか企画とコラボ)	DVD 作品作り(ドラマ)
啓発 DVD、メディア戦略	映像をネットで
国会にて CAP プログラムの有効性をアピール (継続 的)	すぐに使える効果絶大なおとなワークショップのプ ログラムサンプル集作成
大学。専門学校対象の CAP 紹介文 (立派なパンフレ ット)	